

### 平成22年1年間（1月-12月）の事故発生状況について

北陸地方整備局発注の直轄工事

#### ◆平成22年事故の特徴◆

- ☆平成22年1年間の事故件数は、「169件」と平成18年以降最多。（図-1）
- ☆労働災害による死者が、「5名」発生し、過去5年間で最多。（図-2・3）
- ☆休業4日以上が平成18年について多く発生。（図-2・3）
- ☆7月－9月期に事故が集中。（熱中症が22件）（図-4）
- ☆月別事故件数は、8月が突出して多く、1月－3月期の冬期間も多い。（図-5）
- ☆公衆災害の事故発生状況に変化。（図-6・7）
- ☆口答注意・文書注意は減少したが、指名停止以上が過去5年で最多。（図-8）

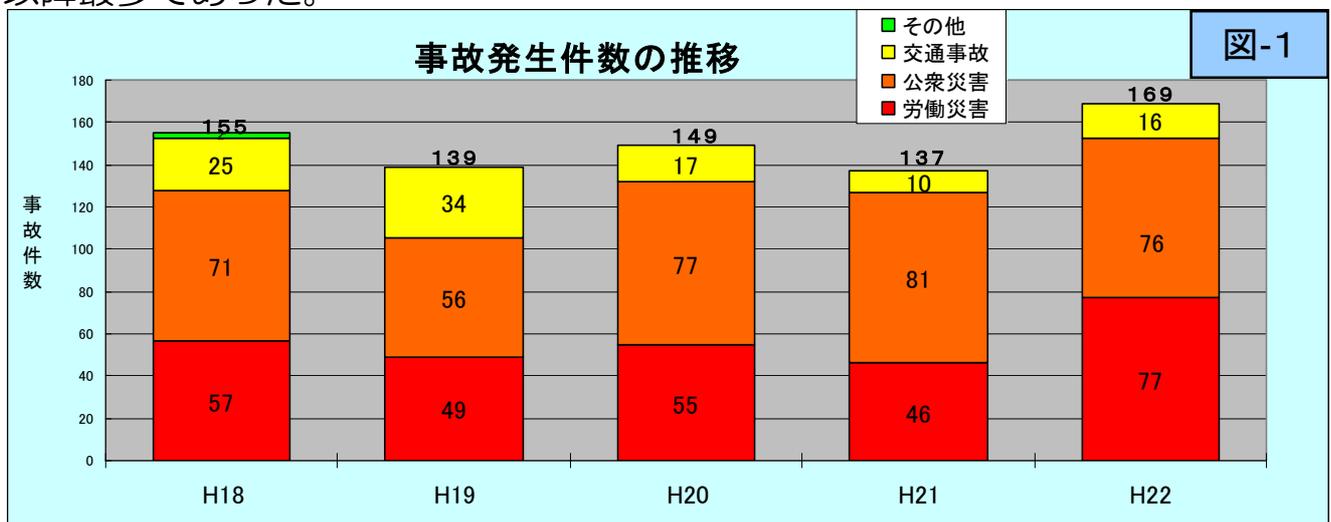
#### ◆平成23年にむけて◆

- ☆事故件数減にむけて、現場管理の徹底を！
- ☆安全対策を徹底し、死亡事故ゼロへ。
- ☆重大災害の撲滅をめざし、現場体制の再確認
- ☆公衆災害の事故減少にむけ、さらなる防止対策の徹底を！
- ☆大雪による、事故災害の防止。

**安全対策を徹底し、工事事故を減らしましょう。！！**

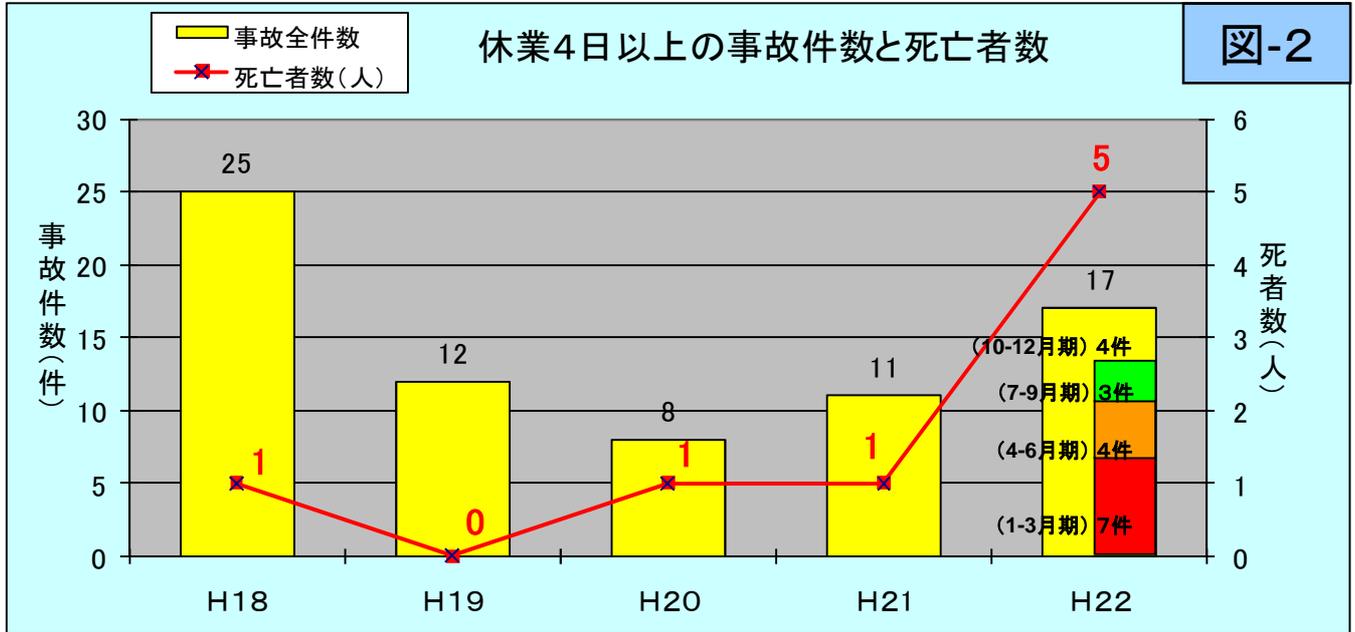
#### 1. 工事事故速報の件数

平成22年の年間（1月-12月）の事故件数は169件発生し、平成18年以降最多であった。



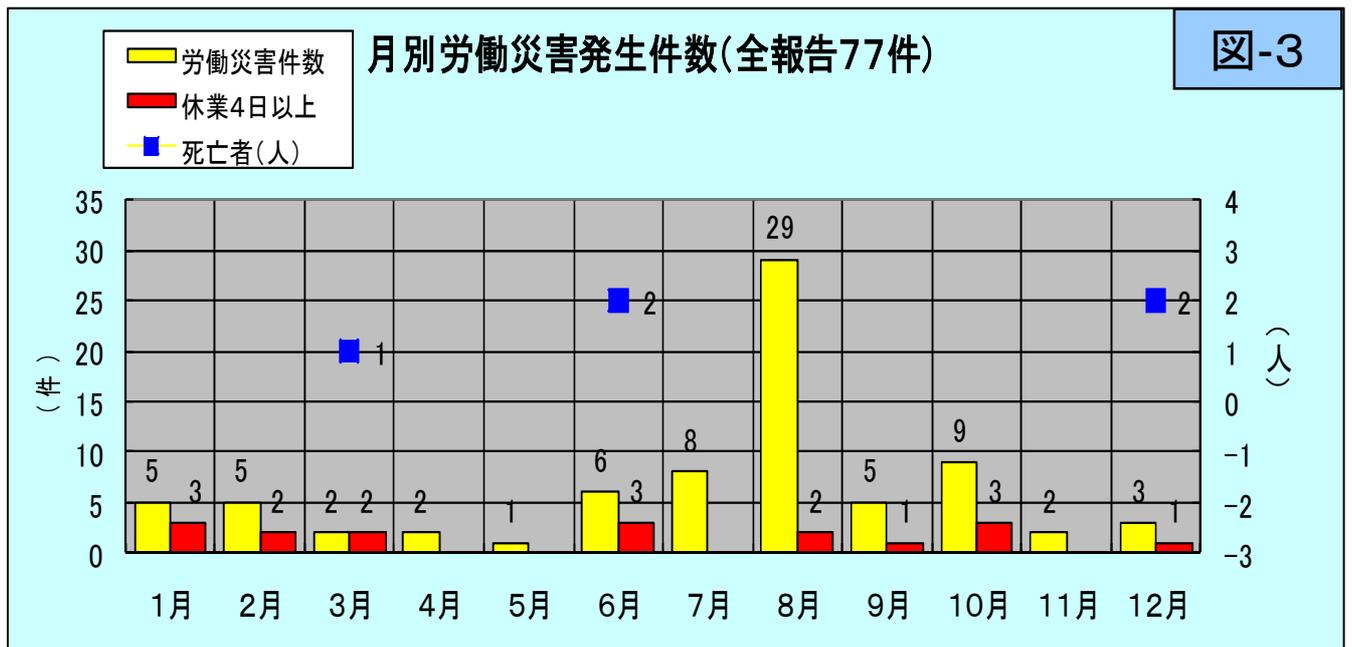
## 2. 休業4日以上労働災害事故件数の発生状況

平成22年の労働災害の死亡者数は、平成18年以降1名以下で推移している中、5名（転落・墜落4名、車両下敷1名）と突出して多い状況でした。また、休業4日以上の事故件数は、平成22年17件と平成18年について、多い状況でした。



## 3. 労働災害の月別発生件数

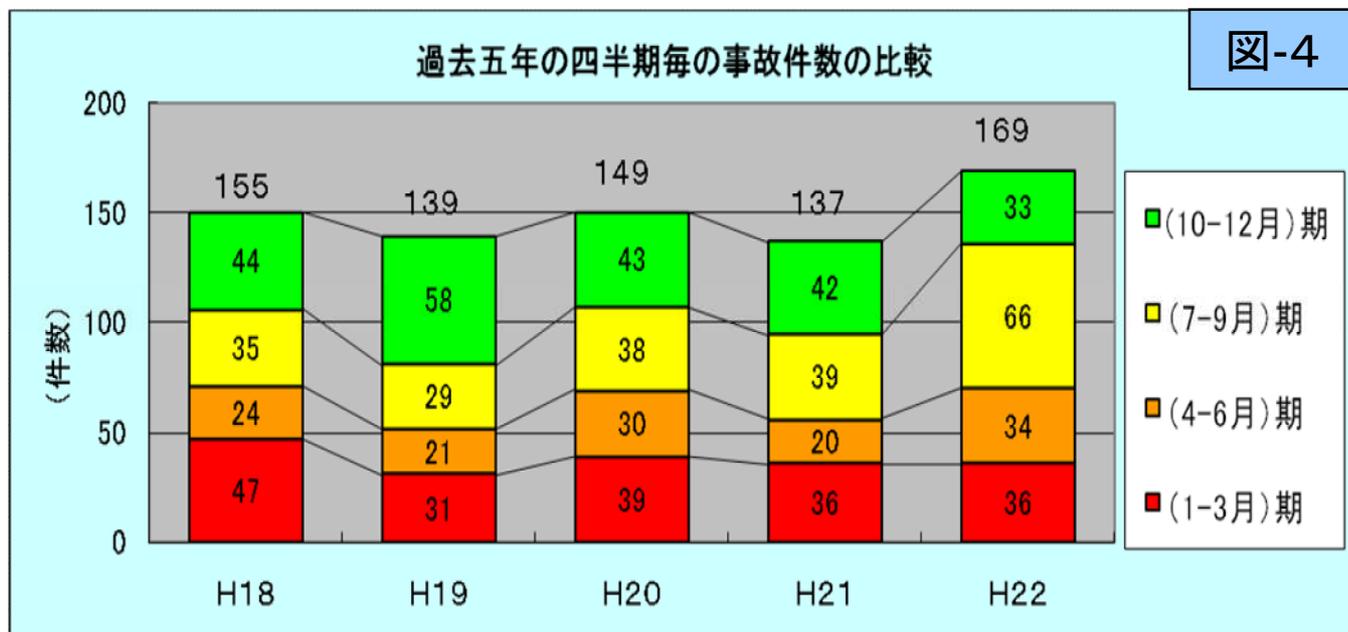
平成22年は、死亡事故が3月に1件、6月に2件、12月に1件で、死者数は5名でした。労働災害の月別の発生件数では、8月に29件と突出多い状況でしたが、休業4日以上は、月最大で3件でした。



## 4. 事故発生件数

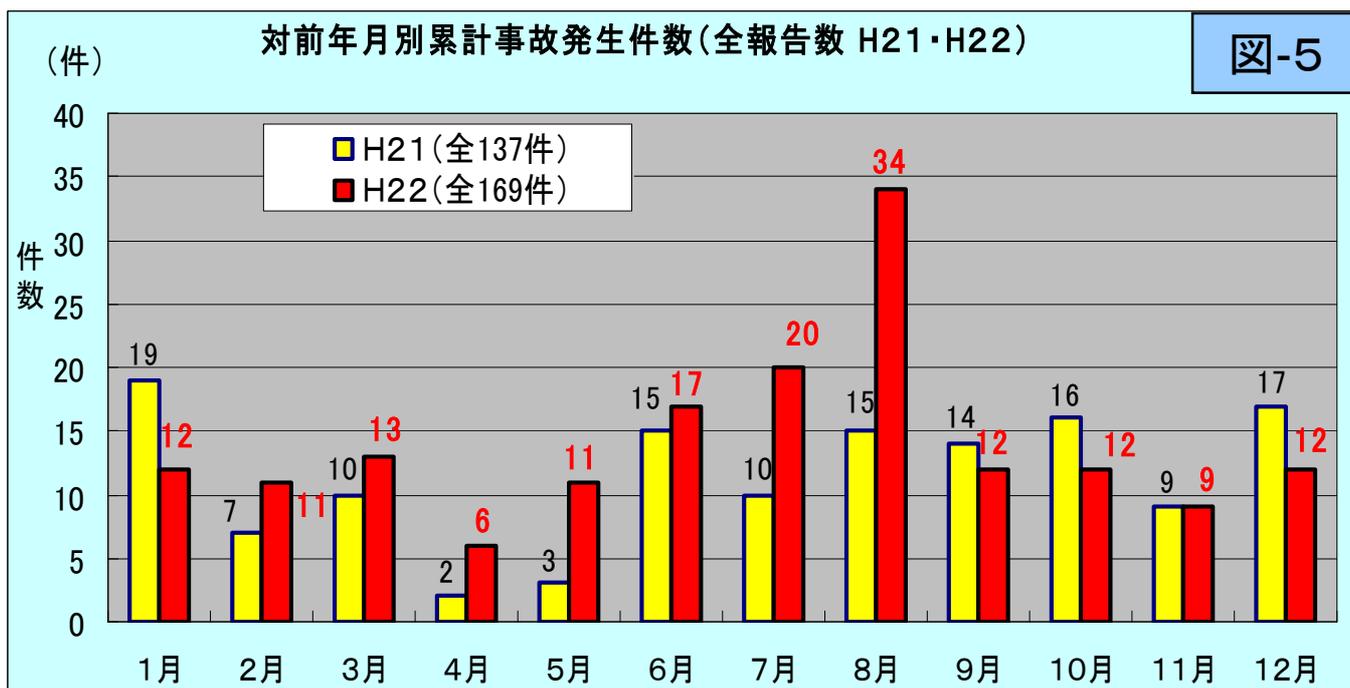
### 1) 各年の四半期毎の事故件数の推移

本年は、7月-9月期に66件と、全体の約40%が発生した。10月-12月期は、33件と過去5年では、最小値の状況でした。



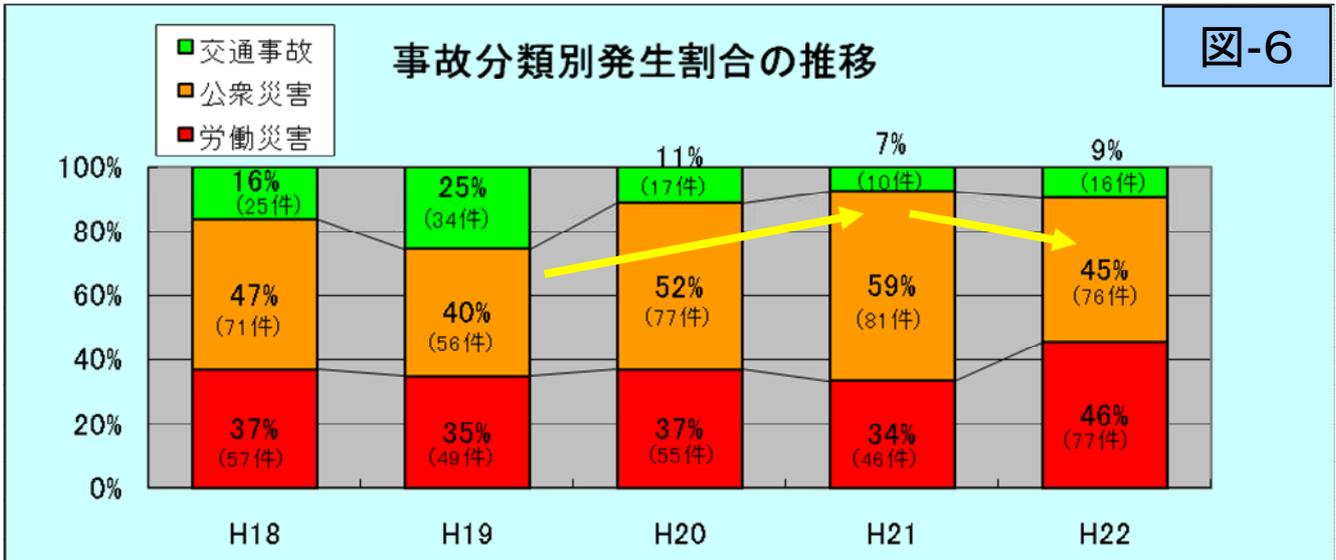
### 2) 対前年比の月別事故件数

平成22年は、8月に34件と突出した事故件数でした。この内訳は、34件中16件が熱中症によるものでした。また、1月-3月の冬期においても、36件発生しました。この内訳として、除雪等の雪に関連した事故が5件の状況でした。平成23年も大雪となっており、注意が必要です。



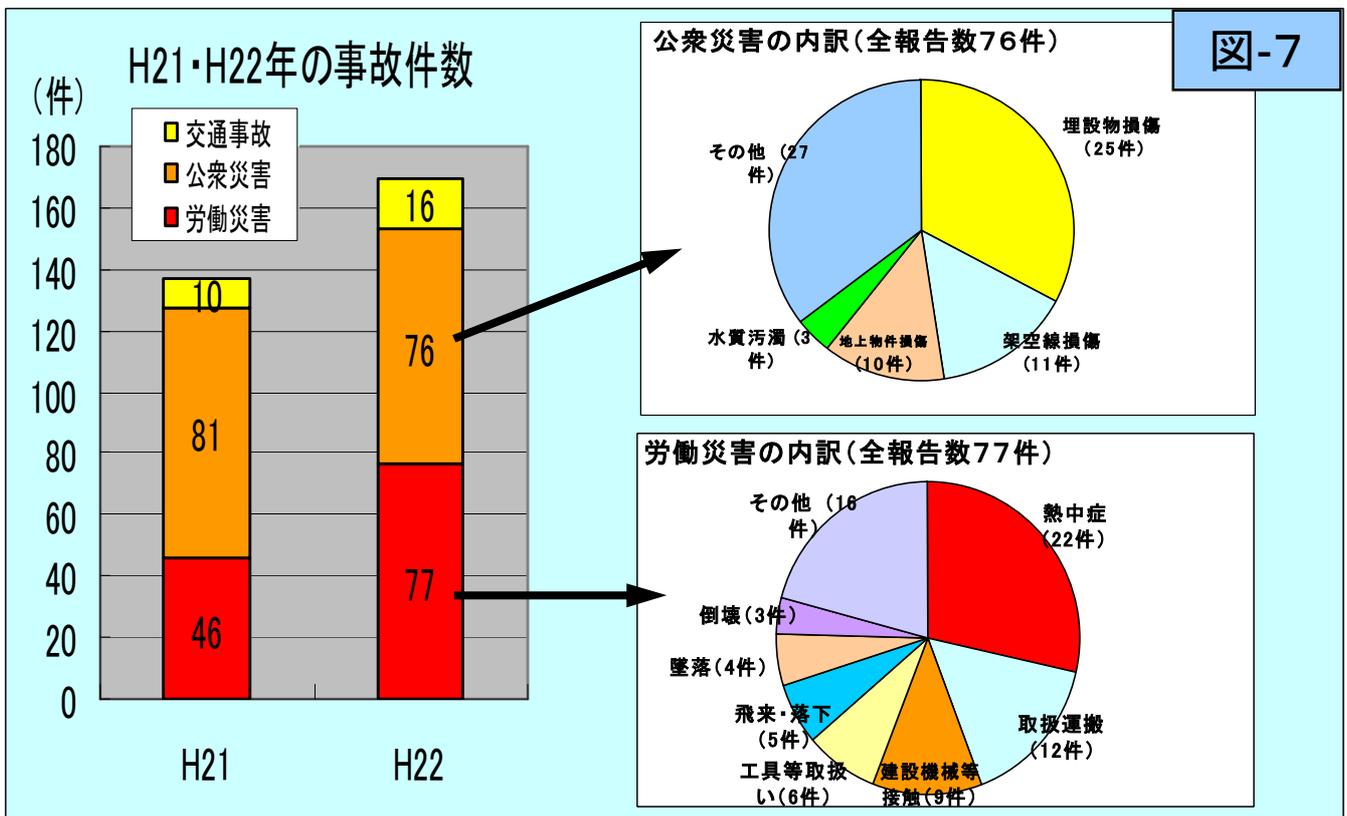
## 5. 事故分類別発生割合の推移

平成18年からの全体の傾向として、公衆災害が47%から59%と増加傾向にありましたが、本年は、件数、割合とも前年を下回り、公衆災害の増加傾向に変化が見られます。



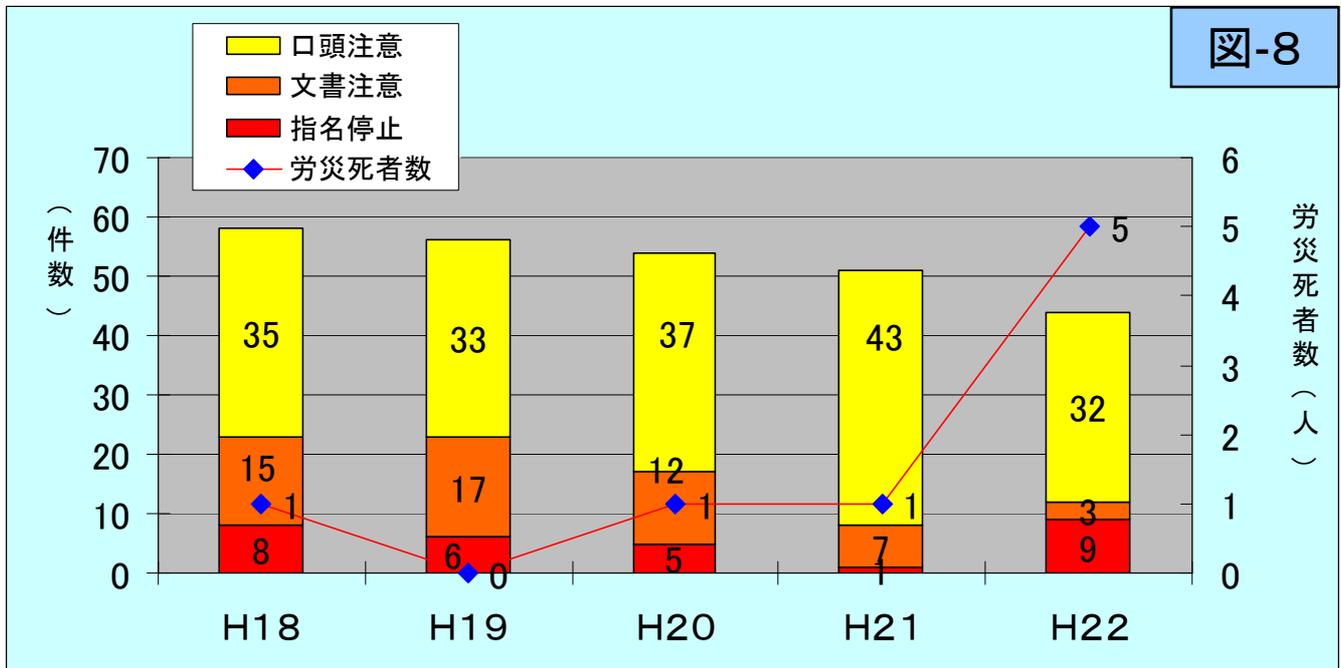
## 6. 公衆災害、労働災害の事故状況

- 1) 公衆災害では、埋設物の損傷事故が、全体の33%を占めました。
- 2) 労働災害の内訳は、熱中症が約30%を占めました。その他は、取扱運搬・建設機械に起因する事故が多く発生しました。



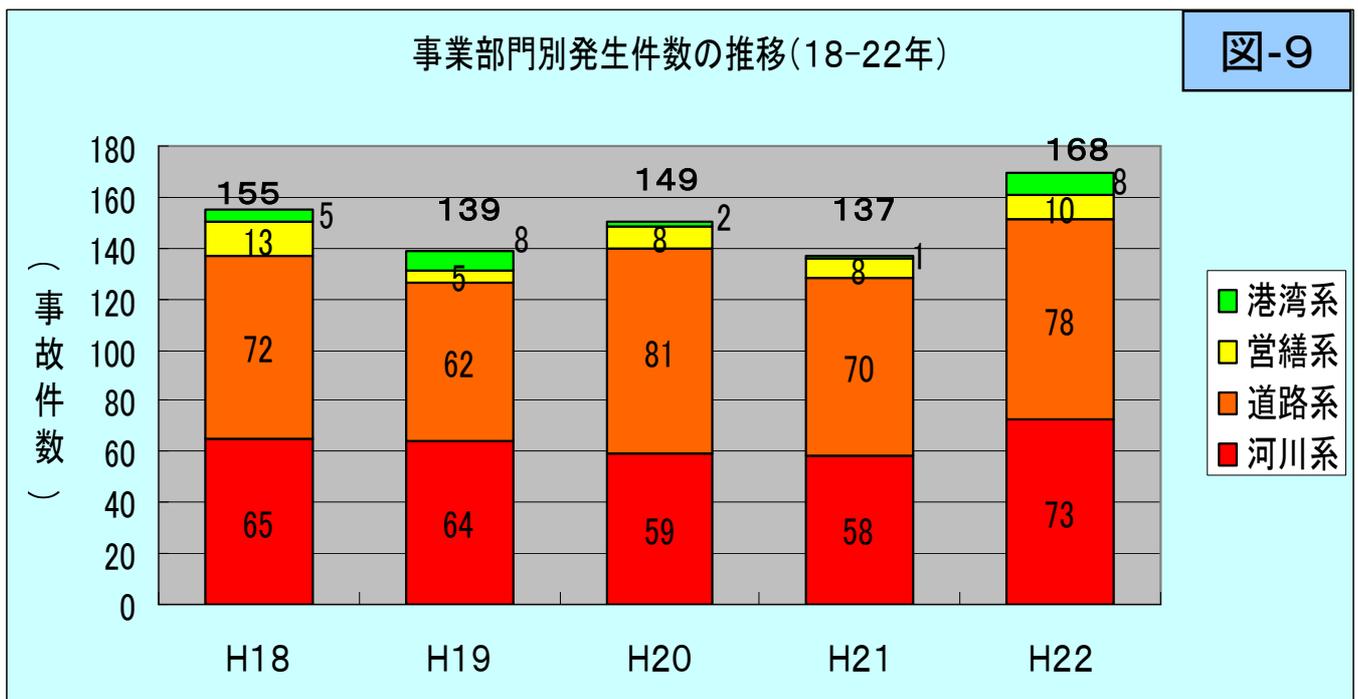
## 7. 工事事故の処分の状況

事故の処分の状況は、文書注意・口頭注意に関しては、過去に比べ減少傾向でしたが、指名停止以上が9件と、過去5年で最も多い状況でした。



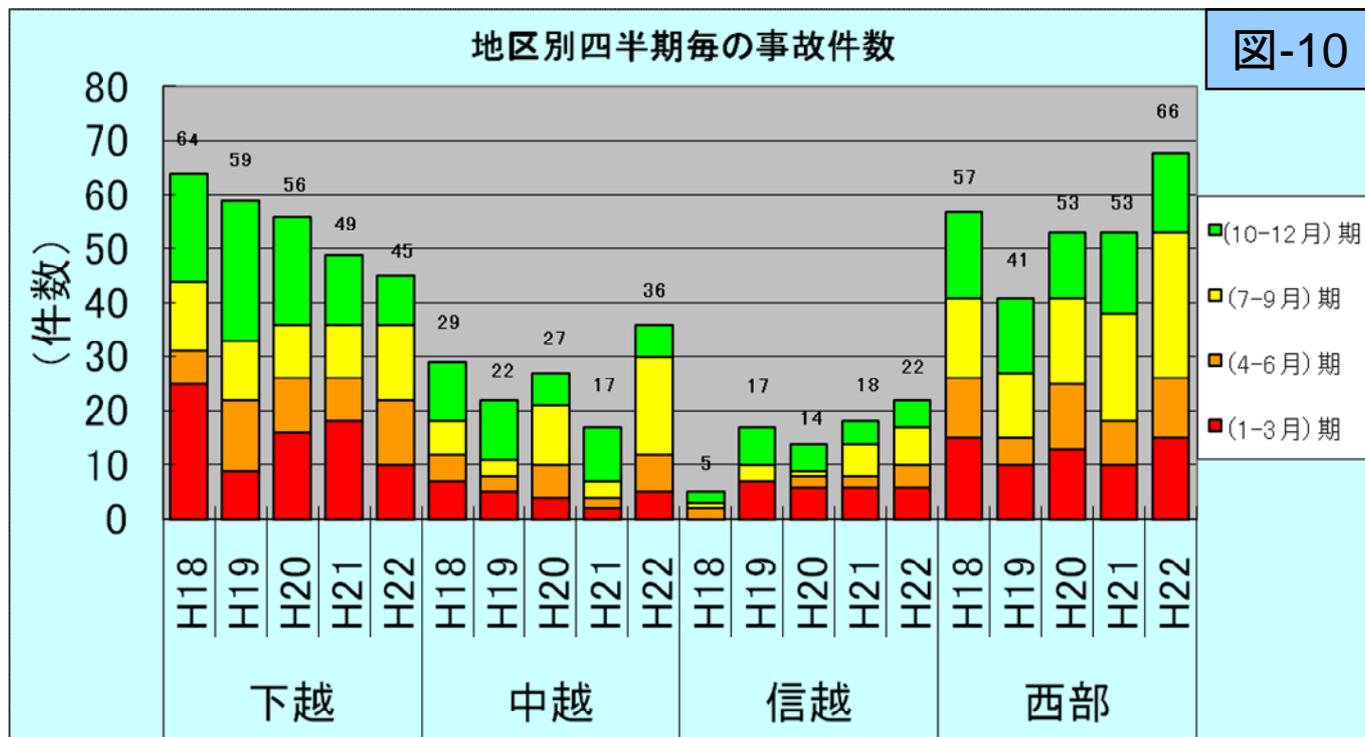
## 8. 事業部門別事故発生件数

事業部門別事故発生件数の平成18年から平成22年の事故発生件数の推移は、以下のとおりです。



## 9. 地区別の事故発生件数

地区別の平成18年から平成22年の四半期毎の事故発生件数の推移は、以下のとおりです。



下越：新潟市以东および福島県の事務所

中越：信濃川河川事務所以南の事務所

信越：高田および長野県内の事務所

西部：富山・石川・岐阜にある事務所

### 建設工事事故データベースへの登録を忘れずに

建設工事事故データベースへの登録(入力)を忘れずにお願いします。

請負者、発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)して下さい。

建設工事事故データベースは、各地方整備局、都道府県、政令指定都市、公団が発注した公共工事のうち、一定規模以上の事故が発生した工事について、事故報告をインターネットを利用してデータベースに入力するものです。

データベースを「建設工事事故データベース」もしくは「SAS(Safety Analysis System)」と呼び、管理業務はSASセンターが行っています。

登録(入力)は、SASセンターのホームページから

URL <http://sas.ejcm.or.jp/>